



兵庫支部NEWS 令和2年3月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)
兵庫支部ブログ <http://blog.goo.ne.jp/ninom45> メール:7347oabk@jcom.zaq.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)
購読のお申し込みは郵便振替
振替口座:00970-5-236766
口座名:兵庫支部NEWS

新型コロナウイルス感染防止対策の為 3月の兵庫支部行事、三金会・囲碁の 会・役員会および三金ゴルフコンペが 中止になりました。

3月1日に西宮市の男性が新型コロナウイルス感染の発表があり、その後、連日のように感染者の報告が続く中、3月8日(日)の丹波篠山市の八上城跡を訪ねる「歩こう会」は実施されたが、その後の感染者増大に伴い、3月9日(月)に囲碁の会及び三金会の中止が発表された。

3月22日(日)開催予定の兵庫支部役員会について各役員の見解聴取結果、圧倒的に中止希望が多いため3月12日(木)中止と決定、会場予約していた神戸市青少年会館に連絡すると、同日、会館は休館延長を決定し、17日(火)～25日(水)を臨時休館することになり関係者に連絡中であつた。当面は支部総会等の諸案件はメール、ファックス、電話などにより審議されることになる。

また、3月25日(水)ローズウッドGC、小野市、で開催予定だった三金会ゴルフコンペは9人のエントリーがあつたが、急遽中止されることになった。

4月の支部行事については、当面様子見て後日実施可否が決定されます。

同窓会会長選考委員会は書面審議 現会長善正善氏の再任支持多数で決定的



3月14日(土)開催予定の次期会長選考委員会は、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、沖田康尚委員長(広島支部長)の意見一支部から推薦者が出てきた場合は会議を開催し、そうでない場合は紙面開催一に従い、各支部からの回答を待ち、48支部中、候補者無し20支部、再任希望28支部及び本部という結果になった。この結果を踏まえて現会長善正善氏を次期(令和2年第1回評議会～令和4年第1回評議会)会長として推薦に同意を求める書類が15人の会長選考委員に送られた。

兵庫支部月例親睦会「三金会」会場ご案内

居酒屋「おうみや」駅前店

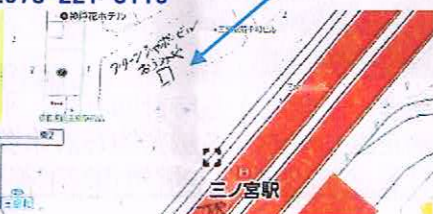
神戸市中央区琴ノ緒町5-3-5グリーンシャポ-ビル1F

JR三ノ宮駅東口北出口(山側)道路を挟んで向かいのビル1F

「開催日時」 Tel.078-221-3115

毎月第三金曜日
午後6時～8時予定

会費
約3000円(男女とも)
(実費割勘)



北九州市立大学の「学位授与式」「入学式」の式典中止。学科(クラス)ごとに会場を分けた分散開催を実施。イベントは学内外問わず原則中止または延期。

北九州市立大学は2月28日、新型コロナウイルス感染対策に向けた基本方針を発表した。

「学位授与式」及び「入学式」について

1. 「学位授与式」及び「入学式」については、卒業生・入学生及び教職員のみの参加で執り行う。保護者、来賓等の出席はご遠慮いただく。
2. 予防の観点から、学生が一堂に会した式典は行わず、学科(クラス)ごとに会場を分けた分散開催とする。
3. 挨拶は学長告辞・式辞のみを放送形式で執り行うなど工夫し、開催時間の短縮を図る。
4. 飲食を伴う「祝賀会」等は開催しない。

イベント開催について

本学におけるイベント等については、原則、学内外を問わず中止又は延期とする。

*イベント等には、サークル・ゼミ活動、各種セミナー、講演会等を含む。

上記通達により硬式野球部は春季オープン戦を2月26日開幕の初戦(対福岡工大2-2引き分け)のみで、3月の宮崎キャンプ、関東遠征、対外試合を中止した。

同窓会本部役員会会長候補推薦書より 善正善氏再任推薦理由

善氏は、平成28年に会長に就任以来、全国の支部総会に出席し、同窓会への意識の希薄化や高齢化等の現状と課題を把握してこられました。これらの課題に対する対応策の一つとして、「若者の会」への助成や積極的な情報発信などに着手してこられました。

また同窓生が増加の一途を辿る中、持続可能な組織運営に向けて、事業及び経費の見直しに努めてきました。令和3年度には、一般社団法人へ移行予定であり今後とも優れた見識と卓越したリーダーシップを有する同氏が会長として手腕を発揮して頂く事が必要です

同窓会活動の実績など

- 昭和61年5月～平成14年7月 八幡支部幹事
- 平成14年7月～平成16年5月 八幡支部副支部長
- 平成16年5月～現在 八幡支部幹事
- 平成4年10月 同窓会総会で支部役員としての活動功績により功労賞表彰
- 平成28年1月 同窓会本部の推薦により大学が企画運営の就職支援セミナーの講師
- 平成28年5月 同窓会会長就任
- 平成30年5月 同窓会会長再選(寄付金協力)

1. 開学40周年記念事業
2. 同窓会創立50周年記念事業(平成11年/平成13年)
3. 大学創立70周年記念事業支援募金

兵庫支部囲碁大会2月大会開催

優勝は平間正昭3段、準優勝山本信司2段

兵庫支部「囲碁の会」2月例会は、兵庫支部囲碁大会と称して開催、この日だけの飛び込み参加も歓迎なのだが、結局いつものメンバー6人の参加となった。

2月21日(金)午後1時前、定例会場の阪急囲碁クラブに着くと、入り口で平間会長が待機中だった。

扉は閉まったままだ。店主が何らかの理由で遅れているのかと暫く待機し、自宅に電話するも応対無し。

階下にもこじんまりとした碁会所があるので、こちらに交渉して急遽会場を移して始めたら、常連客で一杯になって、我々飛び込み客は席を空けるよう要望される。

再び会場を、定例会場と同じ二階の東端の「神戸囲碁」に移し、何とか大会を開催することができた。



(左対局から今市・名越、安徳・平間、山本・奥本)

大会は、定例会で実施の点数制のハンディを準用する予定だったが記録長が定例会場に預けたままの為、それぞれが記憶をたどりハンディを継承して始める。5戦全勝の平間正昭3段(S37商)が優勝、3勝3敗で同率2位の山本信司2段(S37米英)と名越英昭1級(S37米英)がじゃんけんで山本2段が準優勝と決まった。成績は下記のとおり

兵庫支部囲碁大会2月大会成績表

令和2年2月21日(金)@神戸囲碁

優勝	平間正昭3段(S37商)	5勝0敗
準優勝	山本信司2段(S37米英)	3勝3敗
第3位	名越英昭1級(S37米英)	3勝3敗
第4位	奥本進4級(S39商)	2勝3敗
第4位	安徳信義4級(S44商)	2勝3敗
第6位	今市均2級(会友)	1勝4敗

以上

「囲碁の会」定例会

毎月第3金曜日午後2時～午後5時半

会場：阪急囲碁クラブ(写真右)

JR高架下飲食街2F、
阪急神戸三宮駅西口寄り
Tel.078-331-1303

会費：クラブ料金制度に基づく

入場料：700円

対局料：1局50円(敗者負担)

初心者歓迎！ 気楽にお出で下さい！



おむすび大好き♡ I Love を結び

三村晴美(S60経営)

春の彩りおむすび

第77回は「春の彩りおむすび」です。
いただきものの畑の新鮮なお野菜を使った彩りの綺麗なおむすびです。



<材料> 2個分 ご飯…………… 160g
人参…………… 20g
ほうれん草…20g
玉子………1個 (Sサイズ)
塩胡椒…お好みで適量
オリーブオイル…適量

<作り方> 1. 人参は5ミリ角に切り、茹でる。
2. ほうれん草は塩ゆでにして、食べやすい長さに切る。
3. フライパンにオリーブオイルをしき、炒り卵を作る。
4. ご飯に1・2・3を加え、ざっくり混ぜ合わせ、お好みで塩胡椒をする。
5. 4を二等分し、おむすびを作る。

兵庫支部月例会

「三金会」2月例会 @居酒屋「おうみや」駅前店

2月21日(金)午後6時前から居酒屋「おうみや」駅前店に7人が参加して、兵庫支部月例親睦会「三金会」が開催された。



出席者：左手前から時計回りに、平間正昭(S37商) 永翁正臣(S41商) 名越英昭(S37米英) 奥本進(S39商) 大村実良(S33商) 山本信司(S37米英) 安徳信義(S44商)

桜田靖氏新著御紹介

「ビイデビイデの紅い花—小笠原放浪記」

桜田靖氏(本名小島吉晴氏、S40米英)から新作を発表したと本紙編集室に連絡があった。3月19日から発売された。

あらすじは、大阪で新婚家庭が火事になり、父母は焼死しますが双子の姉弟は救助され、姉は久留米の母方、弟は大分県豊後森の父方の実家に引き取られ育ちます。

弟は東京に出て警備員になって暮らしますが、ある時不始末をしてかして生きることに絶望して、小笠原父島へ死地を求めましたが

死にきれず島民に助けられ生活をしていて偶然に島の教員に赴任していた姉と再会できたことを、ユーモアと詩情を込めて書かれています。

ビイデビイデの花は、小笠原で二月、三月に咲く花

で、別名は小笠原桜です。(写真右)

北原白秋は、「ビイデビイデの今花盛り 朱のかんざし あけの霧」と詩にしました。ビイデビイデとは南方の島から伝わった土語で、デイゴの樹木が固有種となって「ムニンデイゴ」とも呼ばれます。ムニンとは無人島の意味で、かつての小笠原は無人島でした。

令和2年度九州六大学野球春季リーグ戦

開幕は4月11日(土) 桜原球場で

令和2年度の九州六大学野球春季リーグ戦は、4月11日(土)桜原球場の第1試合北九大対九州大で開幕する。開会式は中止となった。順調に進めば第5週の5月10日(日)に光陵グリーンスタジアムで行われる最終試合福岡大対北九大で閉幕となる。

4月18日(土)に予定されていた福岡大対西南大の応援合戦は中止になった。

現段階では通常開催で最大限の対策を講じたうえで実施予定だが、無観客開催、応援自粛等については、今後協議される。

昨秋のリーグ戦で優勝した北九大が春のリーグ戦も制して、6月に開催予定の第68回全日本大学野球選手権大会に出場を期待したい。フレーフレー北九大!

剣道・柔道・空手

北辰武道具店

奥本正広(代表)

奥本 進(昭和39年商学部卒)

〒666-0015川西市小花2丁目21-9

TEL(072)759-7990



ビイデビイデの紅い花
—小笠原放浪記—
桜田靖



「やまがさ」読み込み都々逸
ヤフーに身売りだ前澤やった俄然注目再投資
やだよ嫌だよ毎日やるの外野ノックは最悪だ
やがて総理よ前カレ以上外語操り支えるわ
山のアケビは松茸見つけ俄然ハッスル誘いかけ
やっぱ妊娠まぐわう二人願が叶って幸やあれ
やはり出ました又々不起訴俄然元気に佐川さん
ヤバイ張り手を毎場所やられ我慢せずとも先んじろ
やるかやらぬか全く白紙合点いかぬが先延ばし
やっと都々逸待ってた号令俄然脳味噌再起動

思案亭

江藤幸嗣氏(S50国文)木版画集 第11回(作品No.41)



姫路城 城門

本来は入り口にかけて手摺りがあります。石垣にもう一工夫欲しかったところです。武井雅弘先生のご好意で表紙に採用していただきました。「姫路城外国語ガイド協会創立10周年記念号」の

第221回「歩こう会」2月例会

千早城址と金剛山登山

「歩こう会」2月例会は毎年金剛山登山を実施しているが、今年の「歩こう会」のテーマ「兵庫の城めぐり」に因んで、いつもは立ち寄ることのない千早城址経由で金剛山頂を目指すことにした。

2月9日(日)南海電車なんば駅午前8時02分発の急行に乗車河内長野駅下車、バス停に向かうと例年に比べ乗客の列が短い。立ち席ならまだ乗れるという声に誘われバスの中へ。

金剛登山口バス停で下車し、いつもとは反対の右方向へ進むと千早神社(千早城址)への急階段がある。説明版に約560段の石段で、その比高は約30mと。(写真右)



休み休み上り、40分近く掛かって登り切った所が

千早城四の丸の広場で「千早城址」案内板がある。(写真左)



しばらく休憩し、広場を偵察に出かけ戻ると、平間氏が青い顔して蹲っている。聞けば糖尿病改善の為断食療法中で昨夜から食事していないとのこと。一人で下山するという。持参の白湯

とバナナを試しに口にしてもらったら、元気が出たと登山を続けることに。

四の丸の広場を通り抜けて社務所がある三の丸に来ると「史蹟千早城址」の石碑があり記念撮影。本日の参加者は3人である。左から二宮慶治郎(S38米英) 名越英昭(S37米英) 平間正昭(S37商)



社務所で千早神社のお守りを買って、千早神社へ向かう。(写真左)



後醍醐天皇が楠木正成の忠死を聞き、その死を惜しんで延元元年(1336)に千早城に楠木社を創建されたのが千早神社の始まりだという。明治7年荒廃していた楠木社を再建し、同2年に千早神社と改称

され、大正15年に城址の最高地にあった社殿を現在地に移され造営され昭和10年に完成し府社に昇格し現在では開運招福、事業繁栄、運氣向上等を願う多くの人が遠方からも訪れていると。

千早神社の参拝を終えて本来の登山道との合流地点に向かった。(写真右)

この辺りは三合目手前だがすでに11時近い。



四合目11:24

五合目11:39

六合目11:57



七合目12:15



八合目12:34



8.5合目12:46



九合目12:56

山頂広場に到着したのは13:12。合流地点から約2時間、登山口から約4時間。広場の温度計は-4℃を示していた。(写真右)



温度計の向こうのベンチに陣取って昼食の用意だ。二宮氏持参のコンロでお湯を沸かして、かじかむ指を暖めながらカップラーメンをすすする。(写真左)



昼食を終えて、広場に掲示されている登頂回数記録ボードで知人の回数記録を探す。数年前まで山頂で出迎えていただいた

豊嶋さんは1750回以上になっていた。登頂記録受付所の前の「かまくら」は暖冬で哀れな姿だったが記念写真を撮影した。(写真左)



金剛山頂の標識のある広場



に行き、ここでも二人ずつ交代しながら記念写真を撮る。(左) 時間はすでに3時前、あたりのひろばには人影が少なくなっている。往路を引き返すことにし滑り止めのアイゼンを着用して急階段を降りると膝にかなりの衝撃あり。筆者の膝が悲鳴を上げ、がくがくし力が入らなくなった。膝をもみもみしてごまかしながらやっとの思いで下山する事ができた。

バス停(右)到着は午後5時17分。5時11分のバスが出た後だった。次は6時6分の最終便。下山に2時間半も掛け、すっかり迷惑をかけてしまった。



体力の衰えを痛感した一日となった。

(名越記)